

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第15号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年12月5日（土） 18時05分ごろ	
発生場所	長崎県大村湾臼島南端沖の亀瀬 長崎空港飛行場灯台から真方位117° 2,700m付近 (概位 北緯32°53.8′ 東経129°56.5′)	
事故等調査の経過	平成22年2月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 オーシャンライナー7、19トン	
船舶番号、船舶所有者等	293-21904長崎、安田産業汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	両舷推進器及び舵に曲損等	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.60m、船尾約1.25mの喫水で、大村湾臼島南端沖を針路約230°、速力約17ノットで航行中、平成21年12月5日18時05分ごろ、亀瀬の洗岩に船尾船底が接触し、船体に衝撃を受けた。</p> <p>本船は、機関停止のうえ船体各部を点検したが、浸水等の異状が認められなかったため、機関を再始動してクラッチを入れたところ、振動が発生したことから、運航不能と判断し、他船にえい航されて大村港に入港し、造船所に上架して調査の結果、上記の損傷が発見された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 3、日没時刻 17時14分ごろ</p> <p>海象：潮汐 下げ潮末期</p>	
その他の事項	船長は、慣れた航路であったことから、目視のみで航行していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、大村湾臼島南端沖を航行中、船位の確認を適切に行わなかったため、洗岩に気付かずに航行したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が大村湾臼島南端沖を航行中、船位の確認を適切に行わなかったため、洗岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	